

平成30年度事業報告書

1 事業実績

健康寿命の延伸や生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現など、広く県民がスポーツの価値を享受し、活力に満ちた幸福で豊かなみやぎを創るため、生涯スポーツの推進をはじめ、競技力の向上、スポーツ環境の整備などに取り組んだ。

また、公益事業を着実に推進するため、専門的な人材の育成を図るとともに、安定した財政基盤の確立に向けて収入確保対策にも取り組んだ。

さらに、平成30年4月1日から「公益財団法人 宮城県スポーツ協会」として新たにスタートしたが、これまで（公財）宮城県スポーツ振興財団及び（公財）宮城県体育協会が実施してきた各種事業について、その効果を検証し、整理統合を行いながら、より一層の事業の効率化と県民サービスの充実・強化を図った。

2 実施内容

【公益目的事業1】

1 競技スポーツ推進事業

(1) 競技力向上促進事業

国民体育大会等で安定的かつ良好な成績を維持できるよう、加盟競技団体の実践的な強化事業を推進するとともに、ジュニア層の早期発掘と一貫した指導システムを構築し、競技力の向上を図った。

また、国体など全国規模の大会に参加する選手の競技力向上を図るため、競技団体等に競技力向上対策事業補助金の交付を行い、アスリートの強化促進に取り組んだ。

(2) 国体・東北総体推進事業

県教育委員会等の関係機関と連携し、国体や東北総体へ選手団や役員の派遣、さらに、国体に向けて強化指定選手や強化指定チームを選定し、国体等への参加と上位入賞に向けた取り組みを推進した。

(3) スポーツ医科学サポート事業

スポーツドクター連絡協議会等と連携しながら、国体参加監督・選手を対象としたアンチ・ドーピング研修会の開催、国体へのスポーツドクターの派遣や医科学的なサポート体制の構築を図った。

【公益目的事業2】

2 生涯スポーツ推進事業

(1) スポーツ普及促進事業

県民が気軽にスポーツに取り組み、健康の維持・増進を図り、豊かなスポーツライフを享受できるよう、子どもから高齢者、働く世代や障がい者など、年代や対象者に応じたスポーツ事業を展開するとともに、プロスポーツ団体と連携し、プロスポーツ選手によるスポーツ教室等を実施した。

(2) スポーツ指導者支援事業

県民誰もがスポーツに参加し、生涯にわたりスポーツを楽しむことができるよう、各種スポーツ指導者の養成及び（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上を図った。

(3) スポーツ少年団事業

スポーツ少年団活動を支える指導者やリーダーの養成や各種交流大会の開催などの事業を展開し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの原点となる、スポーツ少年団活動の多岐にわたる事業を積極的に支援し組織の充実に努めた。

3 スポーツ環境整備事業

(1) 地域スポーツ支援事業

県内の体協や公共体育施設管理団体への研修会等の実施やボランティア等の地域スポーツ団体支援を行うとともに、みやぎ広域スポーツセンター事業の受託を行うなど、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行った。

(2) 施設利用促進事業

当協会が管理している各スポーツ施設の無料開放等の事業を開催し、気軽に利用できる身近な施設としてのPRを広く行い、県民の皆様への施設利用促進を図った。

(3) スポーツ情報提供事業

ホームページや広告媒体を活用して管理施設や各種事業の情報提供、広告媒体等を活用した広報を行い、スポーツ情報の提供を行った。

(4) スポーツ活動奨励事業

スポーツの振興・発展に功績のあった個人・団体及びスポーツを通して社会に貢献のあった方々の表彰を行った。

4 施設管理・運営事業

公益目的貸与事業として、管理施設の宮城県総合運動公園と第二総合運動場については、利用者の視点に立った施設運営を図るとともに、公のスポーツ施設として安全・安心を最優先として施設の管理・運営を行った。

【収益目的事業1】

5 公のスポーツ施設における公益目的以外の事業

文化活動や展示会等への貸し出しを行い、施設の利活用を図るとともに、財政基盤を確立し、安全・安心を最優先とした施設の管理・運営を行った。

【その他事業1】

6 宮城県自転車競技場管理運営等事業

宮城県自転車競技場の管理運営、スポーツ安全協会宮城県支部の業務受託及び施設利用者の利便性向上のため飲料水等の自動販売機の設置・管理を行った。

平成30年度事業報告

㊦：旧体育協会事業

㊧：旧スポーツ振興財団事業

1 競技スポーツ推進事業

(1) 競技力向上促進事業（7事業）

①ジュニアアスリートの発掘・育成

(単位：人)

個別事業名	開催日	会場	事業内容	対 象	参加人数
㊦ ジュニア選手トレーニングセンター事業	通年	各地	競技団体と連携し、ジュニア選抜選手を対象とした強化事業を実施した。	競技団体 小中学生	16 競技団体
㊦ ジュニアスポーツパワーアップ事業	12月16日 12月22日	スタジアム	運動能力の優れた人材を発掘するため、測定選考会を実施した。	小学生	303

②アスリートの強化促進

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ 競技団体強化事業	通年	各地	加盟競技団体に対して補助金を交付し、選手の競技力向上を図った。	競技団体の選手・指導者	52 競技団体
㊦㊧ 中体連強化事業	通年	各地	全国中学校競技大会等に向けた強化事業の実施に要する経費を助成した。	中学校の選手・指導者	中体連 18 専門部
㊦㊧ 高体連強化事業	通年	各地	全国高等学校総合体育大会等に向けた強化事業の実施に要する経費を助成した。	高等学校の選手・指導者	高体連 38 専門部
㊦ 強化体制構築事業	通年	各地	効率的な選手強化の実践に向けた研修会の開催や、分析担当者の養成に要する経費を助成した。	競技団体の指導者	342 (12 団体)
㊦ 指導者育成研修会事業	通年	各地	高レベル指導者の育成に向けた研修会の開催や、中央競技団体主催の講習会への参加助成を行った。	競技団体の指導者	9 (7 団体)

(2) 国体・東北総体推進事業（3事業）

①国体・東北総体への選手団派遣

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ 東北総合体育大会 事業	通年	—	東北総体参加に係る交通費・ 宿泊費・競技用具の運送経費 並びに選手団が加入する傷 害補償制度加入負担金の一 部を助成した。	東北総体 県選手団	1,016
㊦ 国民体育大会事業	通年	—	国体参加に係る交通費・宿泊 費・競技用具の運送経費及び 選手団が加入する傷害補償 制度加入負担金並びにユニ フォームの購入経費の一部 を助成した。	国民体育 大会 県選手団	636

②国民体育大会強化指定制度

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ 国民体育大会強化 指定制度	通年	—	宮城県教育委員会と連携 して県有施設の減免制度 を活用し、競技団体の強化 事業を支援した。	競技団体	117

(3) スポーツ医科学サポート事業（1事業）

①スポーツ医科学との関係

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ アンチ・ドーピング 教育啓発研修会事 業	9月19日	県庁講堂	国体参加選手・監督を対象 としてアンチ・ドーピング について認識を高める研 修会を実施した。	国体参加 監督・選手	202

2 生涯スポーツ推進事業

(1) スポーツ普及促進事業（17事業）

①子どものスポーツ

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ ミズノスポーツ教 室	10月11日 ～12月20 日 (10日間)	スタジア ム	子ども達を対象に協力企 業のミズノの専門性を活 かしたスポーツ教室を開 催した。	小学生	193

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② 生涯スポーツ出前 講座	5月29日	女川町	子ども達がスポーツ体験 やゲームを通じ、スポーツ に親しめる講座を県内各 地で開催した。	小学生	23
② 剣道寒稽古会	1月5日 ・6日	アリーナ	子ども達が剣道を通じて 交流を深め、技術向上を 図るための稽古会を 開催した。	中・高校生	586
② グランディ・21 スポーツ大会	8月19日 ・20日	スタジアム 補助競技場	子ども達にスポーツの 楽しさと喜びを感じて もらうためのスポーツ 大会を開催した。	小学生	455
② 各種スポーツ教室・ フィットネス等 開催事業	通年	プール テニス アリーナ	子ども達が運動に 親しみやすいプログラ ムの教室を開催した。	幼児～ 高齢者	82,100 (事業全体)
② 地方青少年なぎな た錬成大会	7月14日 ・15日	武道館	日本武道館中央講師等 による錬成大会を 開催した。	小学生～ 高校生	89
② 子どものからだつ くり事業	5月6日～ 2月16日 (全6回)	第二総合 運動場内	子どもたちの運動の 基礎を指導。運動会 必勝塾やスポーツ塾 を開催した。	小学生未 満	127
② 10,000人寒げい古 (柔道・なぎなた)	1月12日～ 1月20日	武道館	柔道・なぎなたの 寒げい古を開催 した。	小学生～ 高校生	448

②働く世代のスポーツ

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② ミズノマラソンマ スタークリニック	6月16日～ 9月17日 (4日間)	スタジアム	働く世代が気軽に スポーツに親しめる よう、マラソン教室 を開催した。	一般	52
② 宮城ヘルシー支 援事業	通年	各教育事 務所管内	県内各地で行われ る宮城ヘルシーふる さとスポーツ祭を 支援した。	一般	5,416
②各種スポーツ教 室・フィットネス 等開催事業 (再掲)	通年	プール テニス トレーニング グループ	働く世代が運動に 親しみやすいプロ グラムの教室を 開催した。	幼児～ 高齢者	82,100 (事業全体)

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② 各種スポーツ教室	通年	第二総合 運動場内	働く世代や、高齢者が運動の大切さを理解し、楽しく体を動かすための各種教室を開催した。	県民	6,132
② 10,000人寒げい古 (弓道・剣道)	1月4日	第二総合 運動場内	弓道・剣道の寒げい古を開催した。	県民	88
② 体組成等測定会	8月7日～ 10日	武道館	骨密度や体組成測定(骨密度・筋肉・脂肪・水分量等の測定)を開催した。	県民	38

③高齢者のスポーツ

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② グランディ・21卓 球大会	11月29日	アリーナ	高齢者の健康づくりや生きがいをづくりの一環として卓球大会を開催した。	高齢者	222
② 各種スポーツ教室・フィットネス等開催事業 (再掲)	通年	プール テニス トレーニング ルーム	高齢者が運動に親しみやすいプログラムの教室を開催した。	幼児～ 高齢者	82,100 (事業全体)
② 宮城ヘルシー支援 事業 (再掲)	通年	各教育事 務所管内	県内各地で行われる宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭を支援した。	高齢者	5,416
② 各種スポーツ教室 (再掲)	通年	第二総合 運動場内	働く世代や、高齢者が運動の大切さを理解し、楽しく体を動かすための各種教室を開催した。	県民	6,132
② 10,000人寒げい古 (弓道・剣道) (再掲)	1月4日	第二総合 運動場内	弓道・剣道の寒げい古を開催した。	県民	88
② 体組成等測定会 (再掲)	8月7日～ 10日	武道館	骨密度や体組成測定(骨密度・筋肉・脂肪・水分量等の測定)を開催した。	県民	38

④障がい者のスポーツ

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② バリアフリーサッカー	12月8日	仙台ワッセ	障がい者がスポーツに親しめる機会の創出のため、サッカー大会を開催した。	障がい者	145

⑤プロスポーツとの連携

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② 仙台 89ers バスケ ットボール教室	8月2日	アリーナ	仙台 89ers と連携し、プロスポーツ選手によるスポーツ教室を開催した。	小・中学生	58
② ベガルタ仙台親子 触れ合いサッカー 教室	6月17日	スタジアム	ベガルタ仙台と連携し、プロスポーツ選手と一緒に親子で楽しめるサッカーイベントを開催した。	親子	156

(2) スポーツ指導者支援事業 (6事業)

①スポーツ指導者の養成

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② 幼児運動指導者講習会	11月1日	アリーナ	幼児期の運動指導者が必要な知識を習得するための講習会を開催した。	指導者	37
② 障害者スポーツ指導員講習会	3月17日～ 3月24日	アリーナ	障害者スポーツの継続的なスポーツ活動を支援する人材を育成する講習会を開催した。	指導者	78
㊦ 公認スポーツ指導者養成講習会事業	通年	県内	競技別の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を養成する講習会を実施した。	一般	74 (5競技)
㊦ スポーツ指導者研修会事業	6月10日 11月22日	ホテル法華クラブ 仙台 茂庭荘	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新義務研修を開催し、資質向上を図った。	公認スポーツ指導者	266
㊦ スポーツ指導者協議会事業	3月10日	ホテル法華クラブ 仙台	日本スポーツ協会公認指導者相互の連帯と資質向上を図るため、研修会実施を支援した。	公認スポーツ指導者	112
② 地域社会 武道指導者研修会	6月16日～ 11月11日	第二総合運動場内	地域社会武道指導者の専門知識と技術の充実を図り、資質向上を行った。	指導者	360

(3) スポーツ少年団事業 (1事業)

①スポーツ少年団の育成

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
④ スポーツ少年団事業	通年	県内	スポーツ少年団の登録手続きや指導者・リーダーの養成、交流大会実施等の支援を行った。	満3歳以上の県民	30,821

3 スポーツ環境整備事業

(1) 地域スポーツ支援事業 (8事業)

①地域スポーツ団体の支援

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
② 体育施設等管理者講習会	1月30日	アリーナ	体育施設協会加盟施設を中心とした、施設管理等の講習会を開催した。	加盟団体等	16
② ボランティア支援事業	通年	—	スポーツボランティアの育成と普及拡大を推進するとともに活動を支援した。	一般	119
④ 市町村体育協会全体研修会事業	1月17日	ホテル白萩	各市町村協会組織の充実及び運営の円滑化を図るための研修会を行った。	加盟市町村協会	44
④ 市町村体育協会ブロック研修会事業	通年	県内	市町村協会各地区ブロック研修会の実施に要する経費を助成した。	各地区ブロック協議会	7地区
② ニュースポーツ用具貸出事業	通年	県内各地	生涯スポーツ活動の振興のため、スポーツ団体が気軽にニュースポーツを楽しめるよう、用具の貸出を行った。	団体	5,674

②総合型地域スポーツクラブの育成・支援

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
④ 地域スポーツクラブ普及促進事業	通年	県内	総合型地域スポーツクラブの普及を支援するため、市町村体育協会が実施する事業に対して経費を助成した。	各市町村協会	16市町村

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ みやぎ広域スポーツセンター運営業務委託事業	通年	県内	「宮城県スポーツ推進計画」に基づき、県内全市町村に総合型地域スポーツクラブが設立されるよう支援すると共に、総合型地域スポーツクラブ等に対して活動推進の支援を行った。	各市町村 協会 総合型 クラブ	延べ 29 市町村 98 クラブ
㊦ 総合型地域スポーツクラブ設立準備補助事業	通年	県内	総合型地域スポーツクラブを設立するため、準備委員会を立ち上げようとしている市町村協会に対して補助金を交付した。	各市町村 協会	1 市

(2) 施設利用促進事業 (5 事業)

①施設の利用促進

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊦ 施設無料開放事業	4月22日、 5月5日、 10月20日 ・21日、 1月19日	宮城県総合運動公園内	気軽に楽しく運動できる機会の提供を目的として施設無料開放を実施した。	県民全般	20,357
㊦ みやぎ県民サッカーの日	6月23日	スタジアム	ワールドカップ開催地として、県民誰もが参加できるサッカーイベントを開催した。	県民全般	1,525
㊦ 施設開放事業	9月30日～ 11月24日 (全3回)	第二総合運動場内	スポーツ(武道)の場の提供をし、健康の維持増進、武道人口の拡大、施設の周知を目的に、体験会や施設無料開放を開催した。	県民	20
㊦ 武道館まつり	9月30日	第二総合運動場内	各種武道演武、体験会等とおし、スポーツ(武道)の普及振興を深め、施設の利用促進を図るため、施設開放型イベントを開催した。	県民	2,270

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊸ クライミングウォール講習会	10月21日 ・11月18日	クライミングウォール	クライミングウォール利用者拡大のため、利用許可取得の講習会を開催した。	県民	9

(3) スポーツ情報提供事業 (2事業)

① 広報・スポーツ情報の提供

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊸㊸ スポーツ情報提供事業	通年	宮城県総合運動公園 第二総合運動場	ホームページを活用し、管理施設や自主事業の情報提供等を行うほか、各種広告媒体への情報掲載や広報誌の発行等を行った。	県民全般	-
㊸ 施設PR事業	通年	近隣市町村	施設内への季節装飾やチラシを活用した施設のPRを行った。	県民全般	-

(4) スポーツ活動奨励事業 (1事業)

① スポーツ表彰の実施

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊸ 表彰事業 (宮城県スポーツ合同表彰式)	2月9日	県庁講堂	スポーツの振興・発展に功労並びに功績のあった個人・団体及び国民体育大会で入賞した個人・団体を表彰した。	県民	115人 32団体

4 施設管理・運営事業 (2事業)

(1) 公益目的の貸与

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	参加人数
㊸ 施設の管理運営・貸与事業	通年	宮城県総合運動公園 第二総合運動場	公のスポーツ施設として、公平・平等な施設の貸出しと適切な管理・運営を行った。	県民全般	-

(2) 公益目的以外の貸与

個別事業名	開催日	会場	内 容	対 象	—
② 施設の管理運営・ 貸与事業	通年	宮城県総 合運動公 園 第二総合 運動場	施設の設置目的以外のイ ベント等への貸出しと適 切な管理・運営を行った。	県民全般	—

5 宮城県自転車競技場等管理運営事業（3事業）

事 業 名	内 容
② (1) 宮城県自転車競技場管理運 営事業	宮城県自転車競技場の管理運営及び施設の貸与事業を実施し た。
② (2) スポーツ安全協会宮城県支 部受託事業	公益財団法人スポーツ安全協会宮城県支部の業務を受託した。
② (3) 自動販売機管理運営事業	スポーツ施設利用者の利便性向上や熱中症予防対策として、自 動販売機による飲料水を提供した。

事業別参加者数

施 設 名	事 業 数	参 加 人 数
公1 競技スポーツ推進事業	11事業	2,625
公2 生涯スポーツ推進及びスポーツ環境整備事業	40事業	158,225
公2・収1 施設の管理運営事業	2事業	1,114,958
その他目的を果たすために必要な事業	3事業	7,394
合 計	56事業	1,283,202

施設別利用者数

施 設 名	年 間 利 用 者 数				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
宮城県総合運動公園	1,259,639	1,797,034	1,353,970	1,370,679	1,425,573
宮城県第二総合運動場	100,370	96,705	101,257	101,526	104,084
宮城県自転車競技場	2,399	6,644	6,172	11,128	7,394
合 計	1,362,408	1,900,383	1,461,399	1,483,333	1,537,051

事業報告の附属明細書

1 役員等に関する事項 ※（ ）内は人数

平成30年4月 1日現在 評議員（15） 理事（16） 監事（2）

平成31年3月31日現在 評議員（15） 理事（16） 監事（2）

(1) 評議員

退任した評議員

氏名	退任日	備考
山田 義輝	平成30年6月15日	

就任した評議員（任期 令和3年度定時評議員会終結の時まで。）

氏名	就任（重任）日	備考
佐野 好昭	平成30年6月15日	
佐々木 昭男	平成29年6月14日	
伊藤 三男	平成29年6月14日	
石川 一美	平成29年6月14日	
鈴木 素雄	平成29年6月14日	
本多 弘子	平成29年6月14日	
渡邊 雅司	平成30年4月1日	
松良 千廣	平成30年4月1日	
永富 良一	平成30年4月1日	
小野寺 秀樹	平成30年4月1日	
高橋 司	平成30年4月1日	
草間 進	平成30年4月1日	
小山 直美	平成30年4月1日	
佐藤 幸也	平成30年4月1日	
高橋 友子	平成30年4月1日	

(2) 役員（理事・監事）

退任した役員

氏名	役職	退任日	備考
細井 崇久	理事	平成30年3月31日	
大沼 博之	理事	平成30年3月31日	
蜂谷 洋	監事	平成30年3月31日	
菊地 正	監事	平成30年6月15日	
西村 晃一	理事	平成30年6月15日	
菅原 芳彦	理事	平成30年6月15日	

就任した役員（任期 令和元年度定時評議員会終結の時まで。）

氏名	役職	就任（重任）日	備考
鈴木 省三	理事	平成30年4月1日	代表理事
薩川 昌則	理事	平成29年6月14日	代表理事
高橋 彰	理事	平成30年6月15日	専務理事
高橋 剛彦	理事	平成30年6月15日	
伊藤 勝也	理事	平成30年6月15日	
高野 昌明	理事	平成29年6月14日	
會田 敏	理事	平成30年6月15日	
小玉 一彦	理事	平成29年6月14日	
庄司 伸一	理事	平成30年4月1日	
佐々木 豊	理事	平成30年4月1日	
高橋 伸二	理事	平成30年4月1日	
川村 清兒	理事	平成30年4月1日	
村上 利仁	理事	平成30年4月1日	
山崎 省一	理事	平成30年4月1日	
宮城 勝文	理事	平成30年4月1日	
阿部 二三男	理事	平成30年4月1日	
早坂 明	監事	平成30年4月1日	
松田 茂	監事	平成30年6月15日	

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

会議名	開催年月日	決議事項	結果
第1回理事会	平成30年 5月30日	1 平成29年度事業報告の承認について 2 平成29年度計算書書類の承認について 3 (公財)宮城県体育協会平成29年度事業報告の承認について 4 (公財)宮城県体育協会平成29年度計算書書類の承認について 5 平成30年度定時評議員会召集の議決について	可決
第2回理事会	平成30年 6月15日	1 専務理事の選定について	可決
第3回理事会	平成31年 3月27日	1 平成30年度補正予算について 2 新規団体の加盟承認について 3 規程の改正について 4 平成31年度事業計画について 5 平成31年度収入・支出予算について 6 宮城県スポーツ少年団本部長等の承認について	可決

(2) 評議員会

会議名	開催年月日	決議事項	結果
定時評議員会	平成30年 6月15日	1 平成29年度計算書類の承認について 2 (公財)宮城県体育協会平成29年度計算書類の承認について 3 評議員の選任について 4 理事及び幹事の選任について	可決

3 重要な職員に関する事項 (平成31年3月31日現在)

専務理事 1名

事務局長 1名

4 会員に関する事項

種類		当年度末	前年度末	増減	摘要
正会員	加盟団体	90	90	0	空道協会加盟 バイアスロン連盟脱会
登録会員	スポーツ少年団	30,821	31,218	△397	
賛助会員	法人等	47	44	3	
	個人	39	63	△24	

5 寄付に関する事項

県内ジュニア選手の競技力向上に支援する名目で寄付を受けた。

(単位：円)

寄付の目的	氏名	申込金額	領収金額
寄付金	第27回宮城県ジュニア選手強化支援 ゴルフ大会実行委員会	250,000円	250,000円